

臨床実習Ⅳ指導報告書

京都大学 医学部 人間健康科学科
先端リハビリテーション科学コース作業療法学講座

学生氏名

臨床実習施設名

(身体障害・精神障害・発達障害)

臨床実習指導者名

臨床実習期間 年 月 日 ～ 年 月 日 I・II期

評価基準

- 4 わずかな指導・助言があれば行える
- 3 指導・助言があれば行える
- 2 模倣学習であれば行える
- 1 模倣学習でも十分に行えない
- 0 模倣学習でもほとんど行えない

評価集計

項目	1	2	3	4	5	6	小計	総計
I 基本的態度								合 否 60以上を 合計する
II 評価								
III 治療計画								
IV 治療実施								
V 記録報告								
VI 管理・運営								

I. 専門職としての基本的態度

項 目	評価	コメント
1. 時間，規則，心得を守り，社会人にふさわしい身だしなみ，態度，言葉使いができる		
2. 作業療法職員，他職員と適切なコミュニケーションがもてる		
3. 対象者と適切なコミュニケーションがもてる		
4. 与えられた課題を期限内に責任をもち計画的に遂行できる		
5. 作業療法への探求心・意欲・創造性が行動としてみられる		

II. 作業療法評価

項 目	評価	コメント
1. 疾患，障害について知識を整理するとともに文献等を積極的に活用し理解する		
2. 対象者の評価に必要な情報の範囲と内容を決め収集することができる		
3. 適切な評価方法の選択ができる		
4. 選択した評価を適切な順序・方法で実施できる		
5. 評価結果から全体像をまとめることができる		
6. 問題点と利点を整理できる		

Ⅲ. 作業療法治療計画

項 目	評価	コメント
1. 対象者の作業療法長期目標を設定できる		
2. 長期目標達成のための具体的な短期目標を設定できる		
3. 治療順序の選択を適切に行うことができる		
4. 治療活動の選択を適切に行うことができる		
5. 変化に応じて治療計画を変更できる		

Ⅳ. 作業療法治療実施

項 目	評価	コメント
1. 治療の目標、目的、手段を対象者およびその家族に説明できる		
2. 治療手段を適切に実施できる		
3. 治療実施の際、安全性を考慮できる		
4. 対象者の変化に応じた治療を実施できる		

V. 記録・報告

項 目	評価	コメント
1. 記録すべき必要な事項を選択することができる		
2. 記録および報告は適切な専門用語を用いて簡潔に文章で表現することができる		
3. 口頭での報告を適切に行うことができる		

VI. 管理・運営

項 目	評価	コメント
1. 作業療法業務として説明されたり役割が与えられたことを理解し行動に移すことができる		
2. 作業療法について適切な紹介と説明をすることができる		

VII. 本学生に対してお気づきのことがありましたらご意見をお書き下さい。

日 付

指導者署名

Ⅷ. 学生の意見

目 付

学 生 署 名